

2005年1月号

ほくし

発行所

社団法人大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

大阪北区歯科医師会は、平成十七年一月十一日（火）に大阪東急ホテル松風の間に於いて『平成十七年新年互礼会』を、府歯・関係官

公署・関係団体及び国・府・市議員が来賓に御臨席戴き午後七時より開催された。東郷専務理事の司会で、来賓の方々の入場を会員



平成17年

新年互礼会開催

大阪東急ホテル
『松風の間』

H17.1.11



が会場内で拍手の中に迎えて、着席後、大西副会長の開会のことばで始まり、黒川会長が、新年の賀詞と参会の謝辞を述べ、昨年の天災への早急なる復興を願ひ、又、歯科界・医療界の難局を憂ひ、その中で会の一一致団結の証しとして『混合診療解禁阻止』の成果を挙げ、今後とも府歯との協力・北区六師会との協調の意向を示した。続いて岡邦恭大阪府歯科医師会会長にご挨拶を戴いた。三輪庶務理事より来賓紹介の後、川崎治北区長・長谷豊北区保健福祉センター医務保健長・岡崎平太大阪市北区医師会会長に御祝辞を戴き、

荒起秀多北区薬剤師会会長の音頭により乾杯を行い祝宴に移った。（参加者は八十三名）

今年度は、出席者全員がテーブル席に着き、ゆったりと「なだ万」の正月風御馳走に杯を重ねた。出席者は席を自由に移動して懇親を更に深める雰囲気となった。定刻となり中谷副会長の閉会の言葉により盛会の中にお開きとなった。

尚、来賓各位は次の通りであった。（順不同 敬称略）

岡邦恭（府歯会長）、太田謙司（府歯専務理事）、神馬知明（府歯常務理事）、野淵秀孝（府歯連盟理事長）、水沼和夫（府歯連盟常務理事）、橋本収（国保組合専務理事）、中山泰秀（衆議院議員）、京極俊明（大阪府会議員）、田中ゆたか（大阪府会議員）、小玉隆子（大阪府会議員）、美延映夫（大阪府会議員）、川崎治（大阪府北区长）、長谷豊（北区保健福祉センター医務保健長）、津田省三（北消防副署長）、岡村平太（大阪府北區医師会会長）、荒起秀多（北區北薬劑師会会長）、藤原俊彰（大阪府歯科技工士会副会長）、永井るみこ（大阪府歯科衛生士会専務理事）、川西順子（大阪府歯科衛生士会北支部長）

パノラマ

◎CoQ10（コエンザイムキウテン）の文字や言葉をよく見たり聞いたりする。薬局で市販されている「疲れにくくなる」「若返りの薬」と評価されている健康サプリメントである。商品の入手が難しいという。

◎体内で酵素の活動を助ける補酵素の一つであり、体内合成される。しかし、加齢的に体内合成量が減少する。その為に体外よりの補給が必要となる。一日30～60mgの量が心筋の目安となっている。

『CoQ10』は、別名ユビキノンは、ビタミンQと呼ばれている。体のエネルギー生産に不可欠な物質で、心臓や肝臓の臓器や筋肉の動きを活性化させる働きに注目され、2001年に食品に認可された。

◎ユビキノンは、元来心臓疾患の患者に投与される医薬品として使用されていた。心臓機能の活性化のために、効果の高い薬剤として、効能書きに「心臓疾患」の記載があり、一般薬としての使用ができなかった。

◎適応病名からの記載を削除することで健康食品扱いとなった。

◎これが政府の唱える「混合診療解禁」の流れに乗った規制緩和の好例ではないのだろうか。

(M)

年頭所感

大阪北区歯科医師会

会長 黒川 森夫



明けましておめでとうございます。

会員の方々にはご家族お揃いでお健やかによいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様方の温かいご協力と、深いご理解に支えられて伝統ある北区歯科医師会の会務に携わってまいりましたが、早やあと三ヶ月の任期を残すのみとなりました。

年度初めに私のスローガンとして次の五項目を掲げさせて頂きました。

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務運営

一、明るく、活気ある歯科医師会の推進

一、会内融和一、伝統の継承

一、対外との緊密な連携

以上の事柄を念頭に置き、執行部一致団結して会務運営に取り組んでまいりました。

たが、これまで大禍なく諸事業を進めさせて頂いておられますことを役員一同心から感謝致しております。

執行部は、引き続き最近急増する未入会医療機関への積極的な対応、将来を見据えたIT化推進委員会の発足、当会内での病診連携体制への組織作り等々身近な諸問題解決に向けて積極的に行動し、徐々にその成果を得てきております。

昨年もまた医療制度改革の嵐が吹くなか、一昨年四月からの被用者保険本人三割負担実施による国民の受診意欲低下に拍車がかかり、加えて昨年四月からの診療報酬改定もマイナスとなり、医療機関の経営基盤が根底からゆるがされる状況が続いております。

常々申しておりますように、このような時こそ北区歯科医師会伝統の「和を以て貴しと為す」の精神を旗印に、会員相互が一致団結し、協力し合い、助け合い、知恵を出し合うと共に、引き続き府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、正しい時代認識のもとに行動すべきであります。現に、昨年

年頭所感

大阪府歯科医師会

会長 岡 邦恭



明けましておめでとうございます。会員の皆様方にとって、この新年が良き年となることを、年頭にあたり心から、お祈り申し上げます。

昨年も中東地域では銃声が鳴り止まず、罪無き人々の犠牲が相次ぎ、情勢は混乱の度を深めるばかりです。人類の叡智が早く紛争を解決し、平和な日々が到来することを心から待ち望んでおります。一方、国内でも度重なる台風や新潟県中越地震などにより大きな被害を被りましたが、一日も早い被災地の復興と被災者の方々の立ち直りを望まずにはおれません。

戦争や災害が起きるたびに、如何に平和が、また安全や安心というものが大切であるのかを思い知らされますが、その安全や安心を脅かす事態が狡猾に進められようとしています。被用

切であろうと考えております。

者保険本人3割負担の実施は国民の健康を傷つける結果となりましたが、今また、小泉首相や規制改革・民間開放推進会議等は混合診療の解禁、株式会社での医療への参入などと言う愚行に走ろうとしています。それを見据えて、経済財政諮問会議は軽度医療等を公的保険の給付対象から外すと言いつつ切っており、これは正しく皆保険制度の危機であります。混合診療解禁反対を訴えた昨年11月の「国民医療を守る大阪府民集会」や反対署名に続いて、今後も息の長い地道な反対運動が必要となるでしょう。先達が築き上げてきた皆保険制度を、むざむざ崩壊の淵に立たせてはなりません。我々はこれを阻止するべく全力を傾注いたしますので、どうか引き続き、熱いご支援、ご協力を、お願いいたします。また、昨年の日歯における一連の事件につきましては我々の天職である歯科医療を地域の中で充実させ、社会の要請に応じることで一歩ずつ信頼を回復する事が何よりも大

さて、全国に先駆けて昨年6月にスタートいたしました夜間緊急歯科診療は開始以来6ヶ月を経過した11月末現在で2,398名にも及ぶ急患が来院され、多くの方々から感謝の言葉が寄せられております。この事実は夜間の歯科緊急診療が地域の方々にとって如何に不可欠なものであるかを鮮やかに証明しております。昨年末で、この事業は行政側からは財政難を理由に「一顧だに」されませんでした。『なんとしても遂行するのだ』という我々の強靱な決意と覚悟、会員の身を削るような思いが通じ、やっと実施にこぎつけることが出来ました。金銭的な裏付けも無く、モデルとする事業もなく、マンパワーの確たる手当てもない、言わば全く「ゼロからの出発」であっただけに会員各位に置かれましては、この独自の事業の実現について強い自負心を持っていただきたいと思います。

世の中がどのように変わろうとも、常に変わらぬ大切な事は地域の方々の安心感をしっかりと支える事です（3面下段につづく）

新年のご挨拶

北区長 川崎 治



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、黒川会長様をはじめ、会員の先生方には、区政の各般にわたり、格段の

ご支援とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

また、「みんなの健康まつり」や各地域で実施しております「ふれあい喫茶」での歯科相談など、地域住民の健康保持に多大なご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、高齢化が進み、長寿社会となっている現在、住民の皆さんの健康に対する関心は、年々高まっております。

新年のご挨拶

北区保健福祉センター
医務保健長 長谷 豊



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで、お健やかに、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、会員の皆様方には保健福祉センター事業全般、特に保険医療行政、と

りわけ歯科保健衛生事業の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

健康は市民の最も関心の高い事柄ですが、自分の手でつくる要素が強いものです。

丈夫な歯は身体の健康につながります。歯の健康はまさに自分でつくるものです。国の健康づくり運動「健康日本21」、大阪市の「すこやか大阪21」でもライフステー

ジに応じた歯の健康が一つの柱として取りあげられてい

区役所、とりわけ保健・医療・福祉を担当する保健福祉センターにおきましては、誰もが、住み慣れた地域で、健康にそして、いきがいをもつて暮らしていけるまちづくりをめざしております。これからも、市民サービスの充実に今までの以上に努力してまいりますので、今後とも、皆様方の温かいご理解とお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪北区歯科医師会の上すますのご発展と、皆様のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

ます。幼児期・学齢期のう歯、成人期の歯周病予防は、既に取り組んでいたでいるところですし、長寿に伴う歯の問題についても、「8020」運動を展開されてきており、以前より敬服している次第です。今後とも地域の歯科保健衛生の向上と推進に向け、ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴大阪北区歯科医師会が黒川会長並びに役員の方の先生方のもと、益々発展されますことと、会員並びにご家族の皆様方のご健康、ご多幸を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

西年年男

大正 10年
昭和 8年
20年
32年
44年



年男

班外 青山 敏男
(大正10年2月25日生)



初春を謹んで御祝い申し上げます。

苦楽と言う名の鈍行列車に乗って人生本線を旅して八十四年、七回目の年男が巡り来て思い付くままに記して見る。途中下車して色々の人達との美しい出会いもありましたが苦しい四年半ばかりの戦争体験等私の人生は宇宙から見ればほんの一瞬の出来ごとだが「海征けば水漬く屍」私には忘れ得ぬ言葉だ。正月を迎えると若くして散った戦友の笑顔が浮かびます。忘れ得ぬ人々に会いたくて昨年十月靖国の森を訪ねました。「靖国の宮居の奥の大鏡映すや戦友の若き面影」鈍行列車を乗り継いで同時

に苦勞を共にしてくれた老妻の力を借りて老骨をいたわり乍ら小さな夢を追いつづけたいと思つて居ります。九死に一生を得て生き延びた身には平和の有難さを感じしみと感じ再び世界が「愚」を繰り返さぬよう祈るのみです。

『身をもつて戦の悲惨知る故に イラクの子等の無事を祈らん』

雑言(ざつげん)

2班 能美 昭夫
(昭和8年1月1日生)



2004年第20回日本歯科医学会総会初日早朝、会場にて九州大学M名誉教授より、一声ありて懇談した時の要旨は「医科は歯科より雲泥の格差で優遇されている」と「連日連夜報道される件」についてであった。

(2面よりつづく)
あろうと考えております。我々が進めている夜間緊急歯科診療は地域の方々に大きな安心感を与えると同時に歯科医療への確かな認識、価値観を高める絶好の機会でもあります。我々の天職である歯科医療を通じて人々に安心感を与える夜間緊急歯科診療は表現方法を変えた医療運動の一つのかたちであるとも言えます。安全であることが安心に繋がり、その安心が安定に繋がり、そのことが人々の生活基盤に活力を与え、やがてその活力が我々と共に発展する地域の実現に繋がります。このことは公益法人にとつての社会的使命であると同時に最も願わしいことでもあります、今一度、我々が実施している夜間緊急歯科診療の意義を噛み締め、自信を深めていただくことを、お願いし年頭の所感と致します。

夜間緊急歯科診療の概要

時間／通年午後9時～翌午前3時
場所／大阪府歯科医師会館
(大阪府歯科医師会口腔保健総合センター附属検査診療所)
診療内容／夜間に発生した歯痛ならびに軽度の外傷等に対応

20年以上前でも、N公立病院院長が来院された際、開口番「歯科は大変ですネ」であった。総合的に把握され、理解されているからである。

平成6年8月、第10回国際エイズ会議に於いて、テキサス大学助教授が、エイズ対策が出来なくて不動産業者に転向を余儀なくされている歯科医が多いと驚嘆された。同級生や教え子の内には、見切りをつけ、子女を医科へ進学させ、現在では、勤務医でも、子女の方が裕福であると嬉しい悲鳴をあげている。

数年前迄、某私立大学の理事に就任、大阪大学、東京医科歯科大学の学生実態調査を全理事に提供し、改善に努力していた頃、子女全員を歯科へ入学させていた家庭があり、啞然とした事がある。

昭和48年、現在地で開業した頃は、驚愕の日日であった。今月は、「FCR」翌日は「投薬」「歯周病」と蜜行減点。治癒した患者にも御来院願ひ、上下顎模型を作製し、審査当日、勤務医S君と大風呂敷4個をタクシーで持参して抗議した、あの不可解・不堪は、一生忘却することはできない。後日、審査員の方から連絡ありて、役員行付のクラブへ招待されたことも思い出にある。

当時の日本歯科医師会は、抗争で週刊誌に何度掲載された事か・・・全て、裏には利権の存在があった。御多分には洩れず、本会も残念ながら同様であった。

会長候補の方が、役員数人と来訪され、協力を依頼され、会場に4大新聞社の記者と同席し、忌憚なき意見を拝聴したが、前近代的水準で、まだこんな世界があったかとの評価で、恥辱赤面した想い出もある。

大阪大学医学部S教授のお誘いで、Oクラブへいった時、本会のO氏が、某氏と懇談されていた。その方の関係上、会員のことで、御苦労されていると推察したこともある。

然るに、世間では「歯科は一番儲かる」と云う。究明・自省せねばならない。

「か初診」は、潮流であったのに、裏に何があったのであろう。姑息な手段を選択せず、威風堂々、資料を完備して交渉せねばならない。会費は、会員の血涙であることを嘗膽せねばならない。

永続する土建政治と金融界が惹起した末會有の経済危機では、会の運営し至難な試験に直面している。重要な部分は廃止・削減し、重要な部分には増補する方

法で克服せねばならない。いつまでも、焦燥感漂う哀愁を味解するわけにはゆくまい。

本会も岡会長、太田専務理事の連携プレーの成果が着々と結実し、以前より青天霹靂の感がある。本支部も、理想的な医療構築に、邁進しようではないか！（紙面の都合上、常体に依る。本会雑誌参照されし）

年男

2班 中井 基晴
(昭和20年2月14日生)



還暦を迎えるにあたり、昨年から堺市において総合病院の経営に乗り出しましたが、この中での歯科の関わりを構築すべく新たな挑戦を始めました。日本の医療の仕組みが大きく変わりつつある中に於いて、総合医療の中での歯科の在り方を医療スタッフ全体に認知させ、交通事故による顔面損傷、口腔領域の腫瘍等の口腔外科としての関わり、嚥下指導、口腔衛生指導等

による入院患者へのアプローチを実施することで、嚥下性の肺炎の減少等成果の見込めるポイントが多々あります。今一度、医科全般と歯科との関わりをいかに在るべきかを見直す努力をしてみたく考えています。

年男

16班 田中 亨
(昭和20年3月30日生)



「還暦に 山野めぐりて
さがす夢 自給自足を
楽しむ夕べ」

年男

2班 池畑 勝
(昭和20年10月7日生)



歯科人生が24才から始まり、30才代40才代50才代と過ぎてゆきました。

東洋には昔から人生の軌跡を「発達過程」と把える孔子の思想があります。それは

我十有五にして学に志し三十にして立ち
四十にして惑わず
五十にして天命を知り
六十にして耳順（したが）い
七十にして心の欲する所に従えども短（のり）を越えずといふ東洋の知恵がそれである。

今年六十才にして「耳順う」という一節が壮年の胸に突きささる現実である。一日一日を「苟（まこと）に日に新たに日々新たに新たまり」の心境で挑戦し続けたいものです。

空っぽの頭

7班 水沼 和夫
(昭和20年10月9日生)



12年前「空っぽの頭」という年男の原稿を書いたのを思い出します。新聞、テレビ、本をあまり読んだり見たりしないので、いつも頭の中が空っぽだから、海

綿が水を吸うように友人、先輩の話がよく頭に入って忘れないという内容だったと思う。今の気持ちとしては、いつまでも「空っぽの頭」とすましてるわけにもいかない。少しは、新聞、ラジオ、本に目をとおしてあらゆる事を自分の頭の中で、問題提起し自問自答する訓練を常日頃から行ないつづける事を心がけて、「空っぽの頭」から、早く脱出しなくてはならないと思っている今日この頃です。

年男

11班 野口 秀夫
(昭和32年6月30日生)



北区歯科医師会に入会させていただいたのは二十六歳のときでした。振り返ればもう二十二年の年月が過ぎてしまいました。会員としては皆様にご厄介になるばかりで、あつという間に年だけを重ねたような気がします。世の中ではいろいろ変遷があっただろうと思ひ、私の生れた年である

討報

昭和三十二年を調べてみますと、今や存続に危機に瀕しているダイエーが大阪千林に誕生しました。近頃老朽化でトラブルが多い原子力発電所も日本で初めて東海村に完成しています。私にしてもピチピチの赤ちゃんの柔肌から、今はプロボヨの霜降り肉の状態ですから、四十八年間というのは結構な年月なんだと実感する次第です。まだまだこれからと思う反面、無理もしすぎないようにとも思うこの頃です。

また、福祉理事を拝命仕りました。不行届きが多く先生方にご迷惑をお掛け致しますが、ご支援・ご指導をいただければ幸いです。

昨年夏、遅まきながら双子（女兒と男児）を授かりました。妻共々連日連夜子達に振り回されており、登山も音楽に浸る時間も吹っ飛んでしまいました。

本年もよろしく願います。

年男

6班 西田 昌弘
(昭和32年9月18日生)



あけましておめでとうございます。

父から院長を引き継ぎまして7年目となります。

小生の目指す医院形態には未だ道半ばではありますが、我々を取り巻く環境が厳しさを増すなか、日々精進してゆきたいと思っております。



5班 奥村 豪
(昭和32年8月30日生)

増加が原因であろうと思います。

それで、今年は、『ダイエット』これが私の今年の抱負です。

年男

11班 阪本 光伸
(昭和32年11月27日生)



新年明けまして、おめでとうございます。

私にとって今年は三度目の年男を迎えるとともに歯科医としてもちょうど干支一週り十二年目となります。

この十二年間を振り返りますと、まさしく卵から孵り足元のおぼつかない「ひよ子」から多くの偉大な先輩方のご指導のもと歯科医師として成長させて頂いた様に思われます。支部においては昨年より地域医療部員として参加させて頂いており、歯科相談や健康まつり等で大変微力ではありま

すが、お手伝いさせて頂いております。

今年はプロ野球新球団「東北楽天ゴールデンイーグル

ス」が話題となっておりますが、私も「酉」とどまらず「イヌワシ」のように、頑張っていきたいと思っております。

歯科医師として21年間 やってきてわかった事

1班 檜山 隆一
(昭和32年12月6日生)



私自身年をとっていき、心身共に変化してきた。

患者さんも年をとっていき、心身共に変化された。

このゆらぎのある中でこの歯科治療は、まことに奥深いものであるという事。

これからも、地道にヒト科の中の歯科臨床医として日々努力していきます。

会員の先生方におかれましては、呉々もお体御自愛ください。今後ともご指導の程よろしく願ひします。

この様な機会を与えてくださり心より感謝しております。ありがとうございます。



野口 清隆 先生 (11班)

御略歴

大正十一年五月二日生

昭和十九年

大阪歯科大学専門学校卒業

御自宅

兵庫県芦屋市八麓荘町十一

野口清隆先生御逝去

班外 青山 敏男

歯科医師会から先生の御逝去のファックスを受け驚きのあまり目を疑いました。

野口清隆先生兄貴と初めてお会いしたのは昭和十四年四月牧野の丘に桜が美しく咲いていた時でした。先生は極めて頭脳明晰で責任感旺盛で素晴らしい温厚な人柄でした。私の方が先生よりも年は上だったけれど

何時も兄の様に尊敬して居りました。戦時中であつた当時卒業して私は歯科医科の軍医として勤務していた

時先生も軍医の試験に合格して呉海軍病院に見学に来

られ、呉の海軍施設を御案内し、たまたま入港していた軍艦をあれが軍艦大和ですと説明した時、なんと大きな艦だあと暫く眺めて居られた事など走馬灯の様に思い出されます。

先生は軍医学校を当時首席で卒業されたので昭和天皇から恩賜の短剣を授与された事は私の脳裏に深く刻み込まれています。先生は終戦後大阪大学歯学部勤務され、私は中之島に診療所を開設しよく重篤な患者を歯学部へ転送しお世話になったものです。

先生は趣味が多くその中でも油絵と写真は飛び抜けて格段の才能があり油絵はチャールズ会の会員でもあり個展を開かれたり本を出版されたりして居られました。個展には度々招待して頂きました。

長い療養生活でお体を大切にしておられました。が、無情の風に誘われて八十三歳の生涯を閉じられました。在りし日を偲びその遺徳を思いご冥福をお祈りしここに別れ申し上げます。

長い間のご指導有難うございました。どうか安らかに眠りください。



大阪北区歯科医師会 新年互礼会 スナップ



西年年男会員

- 12班・安田良三
(大正10年1月1日)
3班・安田忠敬
(昭和20年8月18日)
11班・中西洋介
(昭和20年6月3日)
16班・大山真孝
(昭和44年5月18日)

新年明けまして、おめで
とうございます。
私達にとって今年は三度
目の年男を迎えるとともに
歯科医としてもちようど干
支二周り十二年目となります。
この十二年間を振り返りま
すと、まさしく卵から孵り
足元のおぼつかない「ひよ子」
から多くの偉大な先輩方
のご指導のもと歯科医師とし
て成長させて頂いた様に思わ
れます。支部においては、昨
年より地域医療部員として
参加させて頂いており、歯科
相談や健康祭り等で大変微
力ではありますが、お手伝い
させて頂いております。

年男

15班 樋口 夏彦
(昭和44年7月25日生)



(診) 天神橋六丁四一
S&Yビル2F
六三五一八六六二
F 電 六三五一四〇七八
(自) 吹田市千里山西五
三〇一三三
F 電 六三八六〇八九〇
六三八六〇九九八



16班・大山 利子
(大歯大・昭和42年卒)

(診) 天神西町三一四
電 六三六一二二〇二
(自) 吹田市千里山西五
一九一二
F 電 六三八五一六七八
六三八五一六七八



5班・江藤 賢治
(大歯大・平成12年卒)

新入会員

編集後記

「第169号」が発行です。
今任期最後の発行で、会員・
各部署員の先生方・印刷所
等へ深く感謝致します。

16班・大山 真孝
(東京歯科大・平成7年卒)
(診) 天神橋六丁四一
S&Yビル2F
F 電 六三五一八六六二
(自) 吹田市千里山西五
三〇一三三
F 電 六三八六〇八九〇
六三八六〇九九八

(診) 天神橋六丁四一
S&Yビル2F
F 電 六三五一八六六二
(自) 大阪市中央区瓦町一
一六一二八〇四
F 電 六三三一八九八〇
六三三一八九八〇



16班・大山 晋孝
(東京歯科大・平成8年卒)